

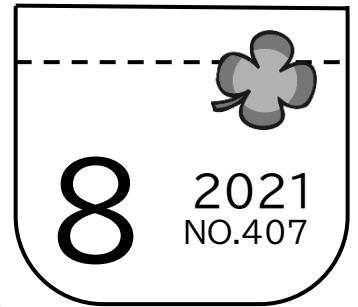


練馬区社協キャラクター



ぽけっと

ocket



練馬区ボランティア・市民活動情報誌

▶今月の特集「不登校に寄り添う」

本格的な夏になりました。皆さんにはどんな夏の思い出がありますか？暑さ対策に加えて感染症対策をして、2021年の夏を乗り切りたいですね！特集では、学校に行っていない「不登校」の子ども達について、区内で活動する3人の方にお話を伺いました。



▲ 8月のイラスト：ボランティアのツルタユキコさんが描いてくださいました。

CONTENTS◆目次

【特集】不登校に寄り添う	P2-3
ボランティア情報・市民活動情報	P2
掲示板	P3
社協情報あらかると	P4

テープ録音版は光が丘図書館にあります。
TEL 03(5383)6500

練馬区社会福祉協議会
練馬ボランティア・地域福祉推進センター

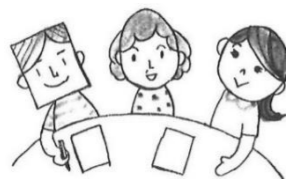
〒176-0012 練馬区豊玉北 5-14-6 新練馬ビル 5階
TEL 03(3994)0208 FAX 03(3994)1224

ホームページ <https://www.neri-shakyo.com>
ブログ「ぽけっとのうらがわ」

<https://blog.canpan.info/neriura/>

WEB (PDF版) で検索

不登校に寄り添う



【座談会参加メンバー】

鈴木さん(なゆたふらっと)
水村さん(練馬・登校拒否を考える親の会)
高橋さん(練馬区内で不登校児支援に関わる方)

Q1 練馬の公立小中学校で1,000人弱(令和2年度)の不登校の子がいます。増加傾向ですが、実感はありますか？背景に何があるのでしょうか？

高橋: 増加傾向で、特に小学校低学年が増えていますね。見えているのは一部で、もっと悩んでいる子がいると思います。

鈴木: 背景は様々です。最近では、コロナ禍でマスクや人との距離等、生活のルールが厳しく指導される影響もあるようです。

水村: コロナもそうですが、先生・学校だけでなく、最近では社会全体に閉塞感や同調圧力があって大人に余裕がないことも背景の一つだと思います。

Q2 不登校の子はどう悩み、どう過ごしていますか？

水村: まじめな子が多く、みんなが行っている学校にいけない自分はすごくダメな子だと思ってしまっていますね。

鈴木: 自分は異端児だと思込まされてしまっています。コロナ休校のときに全員が休みになって、ほっとした子が多かった。

高橋: そう、「やっと普通になれた」と言っていました。誰からも「普通じゃない」とは言われていないのに……。過ごし方ですが、フリースクールや居場所につながっている子はわずかで、全体の1、2割でしょうか。家でエネルギーを溜めている子、自分の興味関心を深めている子、何もできず寝ている子、様々です。

学校へ行きたくない、行かれない、そんな思いでいる不登校の子どもが全国的に増えています。子どもや周囲の大人に一体何が起きているのか、寄り添うために何ができるのか—区内で不登校に関わる活動をしている3人の方をお招きし、座談会を開催しました。

Q3 保護者はどう悩んでいるのでしょうか？

高橋: 子どもが不登校なのは家庭や親のせいではありません。でも、「一般的な子育てができていない親」として見られてしまうのではないかと、不安を持つ保護者の方は多いです。

水村: そうですね。親御さんの悩みは深いです。お子さんの不登校を受け入れるまでに、皆さんある程度の時間がかかる印象です。あ、ちなみに、公立の小中学校は登校日数に関わりなく、皆さん卒業されています。

鈴木: 不登校の支援では、子どもだけでなく親の安心感も作っていくことが大切で、それが支援のスタートだと思っています。

Q4 周りの人ができることはありますか？

水村: 日中、外にいと「学校どうしたの?」という何気ない質問をしがちです。その質問に傷つく子どもがいることを知っておいて欲しいです。

鈴木: 「何年生?」という言葉が学校を想起させます。是非「何歳?」と聞いてあげてください。でも、基本的には、一人の人間として接してあげることが大切です。



学校へ行くように強要する人がいるかもしれないけれど、嫌なことから距離を置くというのは、実はすごく大切なことです。命が一番! (大人も!) 鈴木さん

不登校の事実はあっても、その子の価値は揺らぎません。お父さんお母さんは、お子さんが生まれたときのことを思い出してもらえたらと思います。 水村さん

誰かとつながりながら、ゆっくり進めれば良いと思います。今のままでも大丈夫! 誰もが柔軟に生きられる世の中を大人が作っていくからね。 高橋さん

【問合せ】練馬ボランティア・地域福祉推進センター (連絡先はP4相談窓口参照)

不登校に寄り添う地域の団体

子どもの居場所 なゆたふらっと(石神井町)

1991年から継続している不登校の子ども達の居場所。それぞれやりたいことをして過ごしています。(水・金 13:30~17:00)
【問合せ】メール nayutaflat@gmail.com
TEL 03(3997)9324

子どもの居場所 じゅぴたー(東大泉)

新しくできた子どもの居場所。集団が苦手な学校に行きづらいお子さん達に寄り添います。(第2・4火曜日 10:30~16:00)
【問合せ】メール happy.ocaya@gmail.com
TEL 03(6796)8080 ハッピーお茶家

親の会 練馬・登校拒否を考える親の会(東大泉)

子どもの不登校をきっかけに親同士が出会い、コミュニケーションを持つための集まりです。(第4土曜日)14:00~17:00
【問合せ】TEL 03(3922)2422
大泉ボランティア・地域福祉推進コーナー

今回ご紹介したのは、座談会のごくごく一部です。続きは、ブログ『ぼけっとのうらがわ』に掲載しています。
※インターネット環境がない方はお問い合わせください。



実施報告

災害シンポジウム 2021

災害にどう備える!? ~日頃からのつながりが地域を守る~

7月14日に災害シンポジウムをオンラインで開催しましたので、一部の内容をお伝えします!

講師・高橋さんの話

7月に起きた静岡県の土砂災害における、報道以外のリアルな現地の情報をお聞きしました。また、日頃からできる対策として、備蓄、避難準備、危険な場所の確認、近所とのコミュニケーションについて教えていただきました。

シンポジストの皆さんからも、災害が起きてもお互いを思う気持ちを持って一緒に乗り越えて行きましょう、等のお話をいただきました。

今後も、皆さんと一緒に災害について考えていく機会を作っていきます。11月頃には、災害ボランティアコーディネーター入門講座を予定しています。詳細は10月号の『ぼけっと』でもお伝えします!



収集活動にご協力ください!

練馬ボランティア・地域福祉推進センター、各コーナーでは、以下の物品を集めています。

●使用済み切手

使用済み切手は、封筒からはがさずに周囲を切ってお持ちください。(周囲を1cm程度残す。5mm以下は不可。右下の見本をご参照ください)

●書き損じはがき

●未使用の切手・はがき

●ベルマーク

皆様からお寄せいただいた物品は、地域福祉活動への支援に活用させていただきます。ご協力をお願いいたします。

【受付・問合せ】
練馬ボランティア・地域福祉推進センター
及び各コーナー(下記の相談窓口案内参照)

6月号で募集した折り鶴のご協力、ありがとうございました。ポスターにして福祉施設等にお届けしました。詳細はブログでご報告します。

ボランティア情報

練馬 継続 障害児の通学サポート

障害により、一人での移動が難しいお子さんが通学する際のサポートをしてくださる方を募集しています。

- ◆日 程 月および金曜日 8:00~8:10 (週1回でも可)
- ◆場 所 江古田駅近くのお子さんの自宅~学校まで
- ◆問合せ TEL 03(3994)0208
練馬ボランティア・地域福祉推進センター

※今回は江古田エリアでの募集ですが、他のエリアで募集する場合があります。活動にご興味のある方は是非一度お問い合わせください。

練馬 継続 障害者のIT利用サポート

障害のある方が、タブレットやパソコンを使用する応援を一緒にしませんか?パソコン・障害に関する知識はあまりないが、興味があるという方も是非どうぞ!『練馬ばそぼらん』のホームページをご覧ください。まずは例会見学にご参加ください。

- ◆申込み <https://pasovolun.or.jp/> にアクセスし「ボランティア応募」よりフォーム送信
- ◆問合せ Eメール pocket@pasovolun.or.jp
練馬ばそぼらん ぼけっと担当



市民活動情報

おしゃべり電話

誰かと話したい、話を聞いてもらい、誰かとつながりたい。そんなお気持ちがおありでしたら、電話でおしゃべりしませんか。(中央共同募金会『with コロナ草の根応援助成』活用事業)

- ◆日 時 毎週土曜日 10:00~12:00
※コロナ禍で対面傾聴ができない間のみ
- ◆対 象 65才以上の方と介護をなさっている方
- ◆電 話 070(4117)8848
※名前を言う必要はありません。秘密は厳守します。
- ◆主 催 傾聴ボランティア・こだまの会

令和4年度(令和3年度申請・令和4年度使用)助成事業説明会を行います!

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動募金を原資として、福祉施設などにおける備品購入や小規模修繕、研修や交流事業などの費用を助成しています。また、地域住民が主体となって取り組む地域福祉活動に対して活動費の助成を行っています。①、②とも説明内容は同じです。説明会は予約制ですので、下記までお問い合わせください。

日程：①9月2日(木) 18:00~19:30 ②9月17日(金) 13:30~15:00
 場所：練馬区役所本庁舎(豊玉北6-12-1) ①19階1903会議室 ②20階交流会場
 締切：①8月25日(水) ②9月7日(火) ※参加は1団体1名でお願いします。
 【申込み・問合せ】TEL 03(3992)5600 FAX 03(3994)1224

練馬区社会福祉協議会 総務係 助成事業担当

	赤い羽根配分 新規団体応援部門	赤い羽根配分 福祉団体応援部門	歳末たすけあい配分 地域ふれあい活動部門
助成金額	20万円以内	30万円以内	単独事業：20万円以内 共催事業：30万円以内
助成対象団体	練馬区内で一定期間以上福祉活動をおこなっている非営利の施設・団体など		
	事業開始から1年以上	事業開始から3年以上	事業開始から原則1年以上
助成対象	利用者のための備品購入や小破修理、利用者のための研修、訓練、交流事業など		福祉啓発のための講演会、イベント、講座など
申請期間	10月1日(金)~10月29日(金)		12月1日(水)~24日(金)

ボランティア・市民活動・NPOに関する 相談窓口案内 ~最寄のセンター・コーナーへ お気軽にどうぞ~

練馬ボランティア・地域福祉推進センター
 9:00~17:00 土日祝休み
 〒176-0012 豊玉北5-14-6 新練馬ビル5階
 TEL:03-3994-0208 FAX:03-3994-1224

大泉ボランティア・地域福祉推進コーナー
 9:00~17:00 月日祝休み
 〒178-0063 東大泉2-8-7
 TEL:03-3922-2422 FAX:03-3922-2412

光が丘ボランティア・地域福祉推進コーナー
 9:00~17:00 土日祝休み
 〒179-0072 光が丘2-9-6 光が丘区民センター6階
 TEL:03-5997-7721 FAX:03-5997-7721

関町ボランティア・地域福祉推進コーナー
 9:00~17:00 水日祝休み
 〒177-0051 関町北1-7-14 関町リサイクルセンター1階
 TEL:03-3929-1467 FAX:03-3929-1497

毎月第一金曜日午後は職員研修のためお休みです。(日時は変更になることがあります)

- ▶ご意見・ご感想はお気軽に上記窓口までお寄せください。
- ▶ボランティア募集、市民活動情報の掲載をご希望の方は上記窓口までお問い合わせください。特にイベント、講座等の告知の場合はお早めにご相談ください。
- ▶「ぼけっと」はユニバーサルフォントなど見やすい字体を中心に使用し、編集しています。

- ボランティア・市民活動情報誌「ぼけっと」広告募集!!**
- ボランティア活動を支援する事業にご賛同いただける企業、NPO、施設等の広告を募集します。
- ◆条件 ①1枠(9cm×5cm 1号掲載) 5,000円
 ②版下持込
 ③「ぼけっと」発行1回につき1枠まで
 ④連続掲載可 ※この枠内が1枠分です
 - ◆問合せ TEL 03(3994)0208
 練馬区社会福祉協議会
 練馬ボランティア・地域福祉推進センター